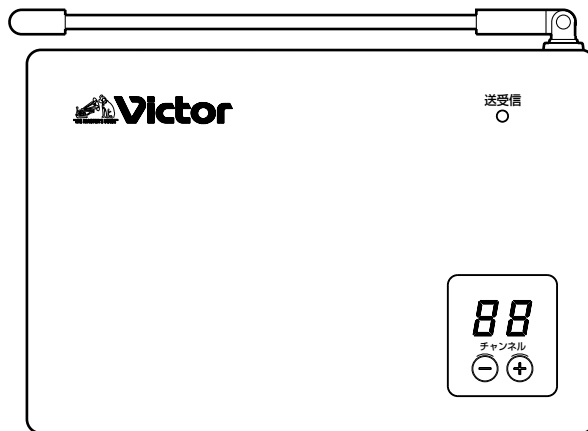


# リピーター

型名 **WT-T50**

技術基準適合証明品

## 取扱説明書



お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」  
をお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお  
使いください。  
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必  
要なときお読みください。  
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際  
は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製  
造番号と保証書に記載されている製造番号が一致してい  
るかお確かめください。

## 特長

- 特定小電力無線局用400 MHz帯の電波を使用した10 mW 送信出力のリピーターです。
- 無線免許および申請手続きは不要ですので、設置していただいたその日からご使用になれます。
- ポータブルトランシーバーWT-TR50から送信された電波を受信し、異なる周波数の電波に変換して他のポータブルトランシーバーWT-TR50へ送信することで、通話範囲を広げることができます。
- 本機に接続された外部機器からの音声を、ポータブルトランシーバー WT-TR50 に送信できます。
- ポータブルトランシーバー WT-TR50 からの音声、および、本機に接続された外部機器からの音声をパワーアンプなどに出力できます。
- チャンネルは、27チャンネルの中から選択できます。
- 交互通話方式を採用のため、システム内のポータブルトランシーバーWT-TR50の台数に制限はありません。

## 使用上のご注意

- 本機を分解、改造しないでください。本機の改造は、法律でも固く禁じられています。
- 本機には、「技術基準適合証明品」をあらわす証明ラベルが貼ってあります。証明ラベルをはがしたり、破いたりすると、サービスを受けられないことがあります。大切に扱ってください。
- 本機を落としたり、ぶついたりしないでください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。
- 必ず本機に付属のACアダプターを使用してください。指定外のACアダプターを使用すると、火災や故障の原因となります。
- 本機を壁面、天井などに取り付ける際には、本機の質量に十分耐えられる強度を持った場所に、確実にネジで締め付けて、取り付けてください。強度が足りない場合や、締め付けが足りない場合は、落下し、けがをすることがあります。
- 本機を壁面、天井などに取り付ける際には、本機をしっかりと手で押さえ落とさないように注意してください。けがや本機の故障の原因となります。

## もくじ

### はじめに

特長 .....	2
使用上のご注意 .....	2
もくじ .....	2
各部のなまえとはたらき .....	3

### 準備

設定スイッチの設定のしかた .....	4
ACアダプターの接続のしかた .....	4
外部機器の接続のしかた .....	5
外部入力の調整のしかた .....	6
設置のしかた .....	6

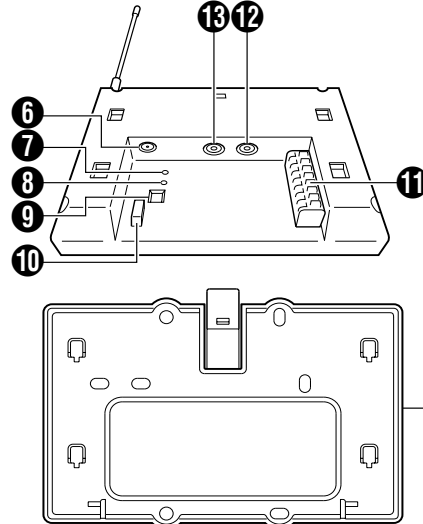
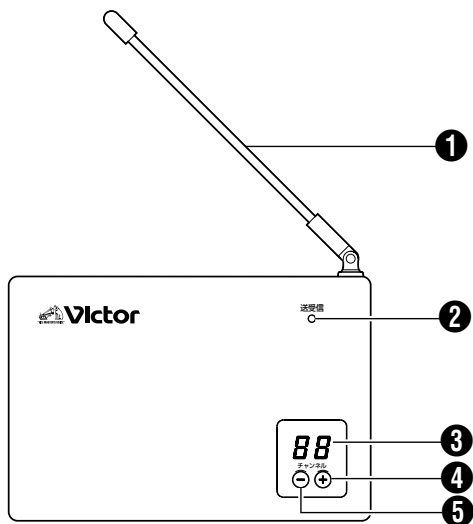
### 操作のしかた

チャンネルの確認および設定 .....	9
ホールマスター WT-MC60 を使って通話をする .....	9
故障と思う前に .....	10
保証とアフターサービス .....	11
主な仕様 .....	11

# 各部のなまえとはたらき

表面

裏面（取り付けプレートをはずした状態）



⑭（取り付けプレート）  
（リピーターから取りはずした状態）

## ① アンテナ

電波を送受信します。

## ② 動作ランプ [送受信]

動作状態を表示します。

- 消灯 : 電源 OFF
- 緑点灯 : 待ち受け中
- オレンジ点灯 : 受信中または送信中
- 赤点灯 : 妨害波受信

## ③ チャンネル表示 (☞ 9 ページ)

チャンネル番号を表示します。

## ④ チャンネル変更ボタン (+) (☞ 9 ページ)

チャンネル番号を表示させたり、チャンネルを上げたりするときに押します。

## ⑤ チャンネル変更ボタン (-) (☞ 9 ページ)

チャンネル番号を表示させたり、チャンネルを下げたりするときに押します。

## ⑥ DC5V 電源入力端子 (☞ 4 ページ)

付属の AC アダプターを接続して、電源を入力します。他の AC アダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがありますので、必ず付属の AC アダプターをご使用ください。

## ⑦ 外部入力音量調節ボリューム (☞ 6 ページ)

外部入力端子から入力した音声の音量を調節します。

## ⑧ 外部入力起動感度調節ボリューム (☞ 6 ページ)

外部入力端子から入力した音声に対する送信起動感度を調節します。右に回すと小さな音量で起動します。

## ⑨ 設定スイッチ (☞ 4 ページ)

ブザー音量、外部入力レベル、外部入力音声遅延の設定をします。

## ⑩ DC プラグ抜け防止台 (☞ 4 ページ)

DC5V 電源入力端子 ⑥ に接続した DC プラグが抜けないように、AC アダプターコードを固定します。

## ⑪ 外部機器接続端子 (☞ 5 ページ)

外部機器を接続するためのプッシュ式端子です。ホールマスター WT-MC60 や ø6.3 複式フォンプラグで接続できない外部機器を接続するときにご使用ください。

## ⑫ モニター出力端子 (☞ 5 ページ)

運用中の音声を出力します。パワーアンプなどに接続します。ø6.3 複式フォンプラグで接続してください。

## ⑬ 外部入力端子 (☞ 5 ページ)

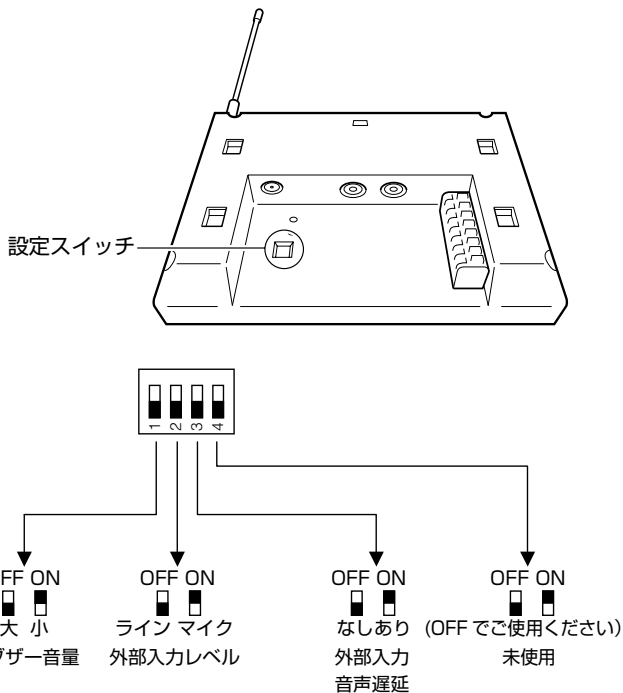
外部機器からの音声を入力してポータブルトランシーバー WT-TR50 に送信したいときに、外部機器を接続します。ø6.3 複式フォンプラグで接続してください。音声自動検出により自動送信します。また、設定スイッチの設定により、頭切れ防止のために音声を遅延させることもできます。

## ⑭ 取り付けプレート (☞ 6 ページ)

壁面、天井に取り付けるときに使用します。リピーターに取り付けた状態で梱包されています。

## 設定スイッチの設定のしかた

ブザー音量、外部入力レベル、外部入力音声遅延を設定します。設定スイッチの操作は、リピーターから AC アダプターを抜いて動作ランプが消灯していることを確認してから行います。工場出荷設定はすべて OFF 側です。



### メモ

- ブザー音は、マイク起動入力に対する応答音として外部機器接続端子のモニター出力に出力されます。
- 外部入力レベル設定および外部入力音声遅延設定は、外部入力端子および外部機器接続端子の外部入力端子に関する設定です。
- 外部入力レベルは、「ライン」設定時-20 dBs、「マイク」設定時-40 dBsになります。
- 外部入力音声遅延は、外部入力端子および外部機器接続端子から入力された音声を、送信起動時の頭切れ防止のために遅延させる機能です。

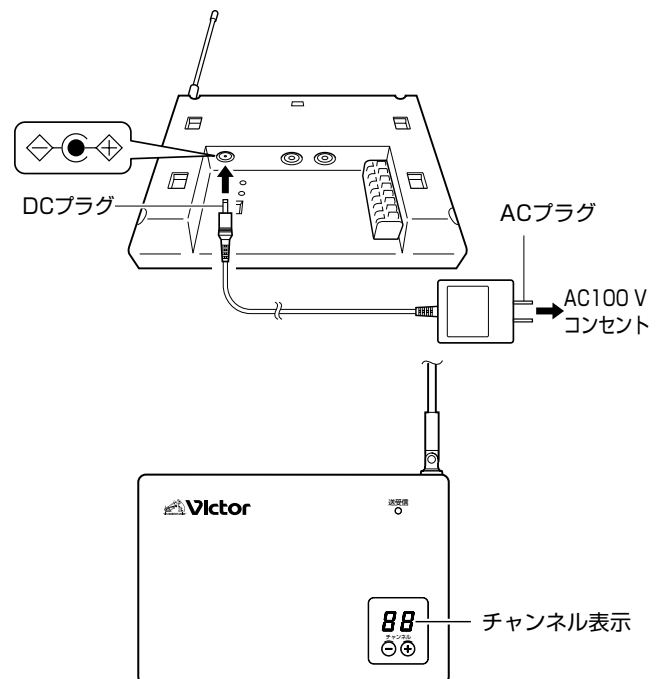
## AC アダプターの接続のしかた

付属の AC アダプターは、つぎの手順で接続してください。

- ① リピーター本体から取り付けプレートをはずします。
- ② 本機の DC5V 電源入力端子に、AC アダプターの DC プラグを差し込みます。
- ③ 本機の DC プラグ抜け防止台に、AC アダプターコードを固定します。
- ④ AC アダプターの AC プラグを、AC100V のコンセントに差し込みます。

リピーターには電源スイッチはありませんので、AC アダプターを接続すると動作を開始します。動作を開始すると、チャンネル表示は、つぎようになります。

- ① 現在のチャンネル番号を点滅表示 (約3秒間)
- ② 現在のチャンネル番号を表示 (約4秒間)
- ③ 消灯



### メモ

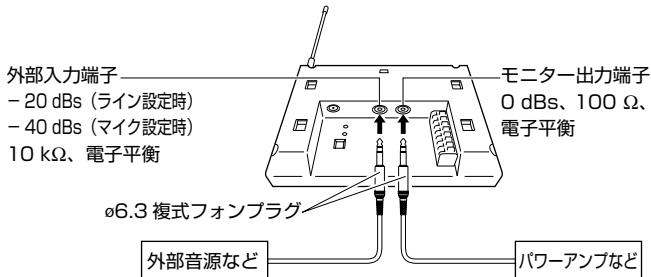
チャンネル表示が点滅表示しているときは、電源 ON 初期化中です。電源 ON 初期化中には、ポータブルトランシーバー WT-TR50 との通話やチャンネルの変更はできません。

### ご注意

必ず付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。

# 外部機器の接続のしかた

## φ6.3 フォンプラグで接続する場合

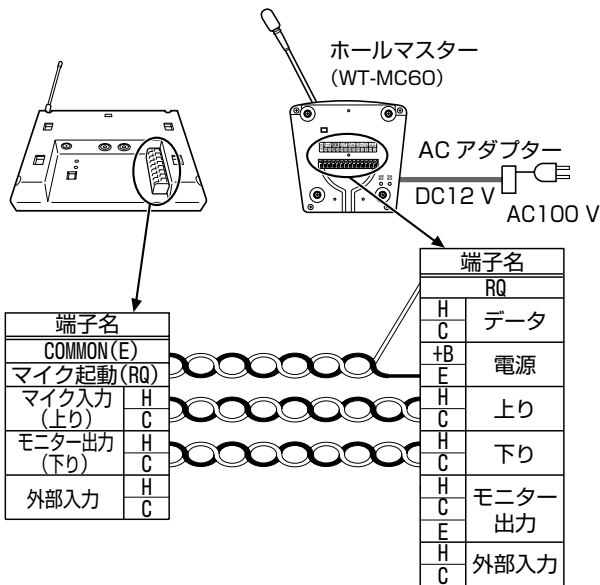


## 外部機器接続端子で接続する場合

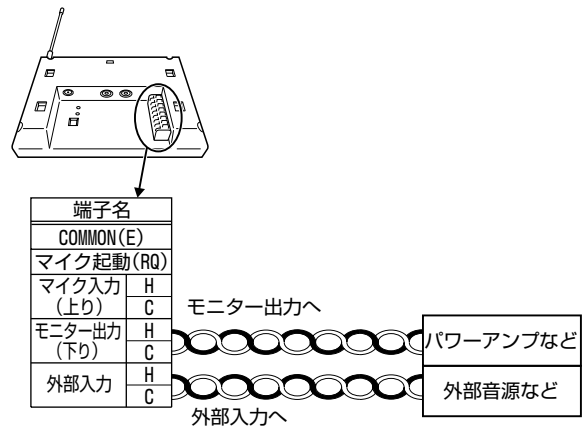
ホールマスター WT-MC60 や φ6.3 複式フォンプラグで接続できない外部機器を接続します。

- マイク入力 (上り) : -10 dBs、10 kΩ、電子平衡
- モニター出力 (下り) : -10 dBs、100 Ω、電子平衡
- 外部入力 : -20 dBs (ライン設定時)、  
-40 dBs (マイク設定時)、  
10 kΩ、電子平衡

## ■ ホールマスター WT-MC60 を接続する場合



## ■ 外部機器を接続する場合

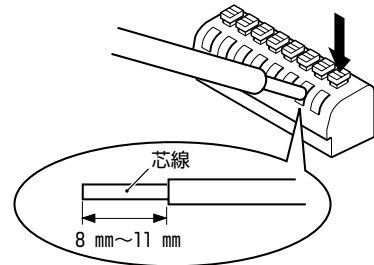


## メモ

- φ6.3 複式フォンプラグで接続する外部入力端子と、外部機器接続端子の外部入力端子は、リピーター内部で接続されています。
- φ6.3 複式フォンプラグで接続する外部入力端子、または外部機器接続端子の外部入力端子を使用する場合は、必ず外部入力音量と外部入力起動感度を調整してください。
- ホールマスター WT-MC60 は、(B) タイプのみお使いになれます。
- ホールマスター WT-MC60 にも専用 AC アダプター (部品番号: QAL0525-001) を接続してください。専用 AC アダプターについては、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。
- モニター出力 (下り) には、ホールマスター WT-MC60 あるいは外部機器のどちらか 1 つのみを接続してください。
- ホールマスター WT-MC60 や外部機器と接続するケーブルの長さは、100 m 以内にしてください。

## 外部機器接続端子へのケーブルの接続のしかた

- 1 ケーブルの被ふくを8 mm~11 mmむきます。
- 2 芯線を端子穴の奥までまっすぐ差し込みます。
- 3 ケーブルを引っ張って抜けないことを確認します。

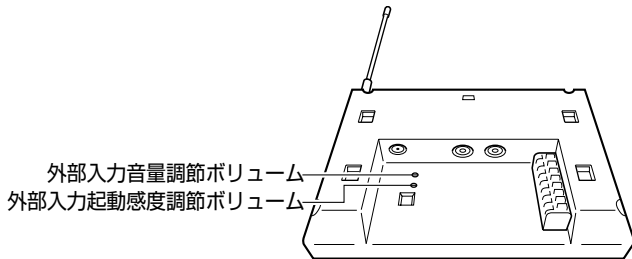


## メモ

ケーブルをはずす場合は、マイナスドライバーなどで矢印部を押してケーブルを引き抜きます。

## 外部入力の調整のしかた

- **音量** : 外部入力音量調節ボリュームで調節します。右に回すと出力音声が大きく、左に回すと小さくなります。
- **起動感度** : 外部入力起動感度調節ボリュームで調整します。右に回すと感度が高くなり、小さな音量で起動します。



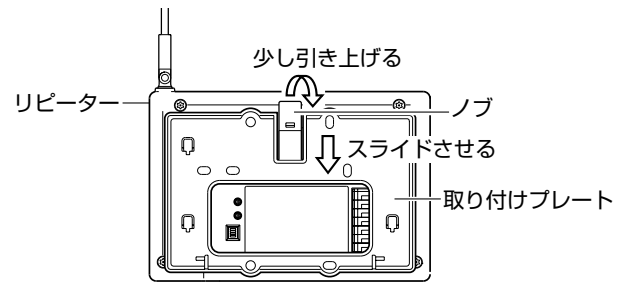
### メモ

φ6.3 複式フォンプラグで接続する外部入力端子と、外部機器接続端子の外部入力端子は、リピーター内部で接続されているため、端子ごとに異なる設定はできません。

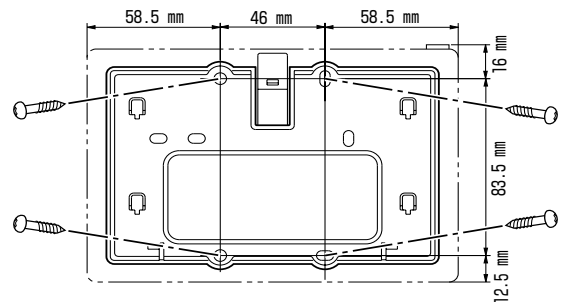
## 設置のしかた

### 壁面、天井への取り付け

- 1 リピーターから取り付けプレートを取りはずします。下図のように、取り付けプレートのノブを少し引き上げながら、矢印の方向へスライドさせるとはずれます。

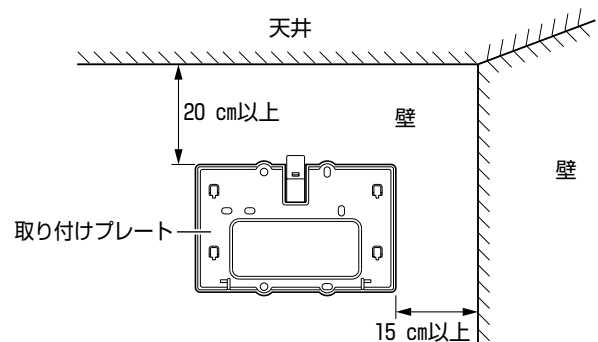


- 2 取り付けプレートを付属の木ネジまたはネジ4本で、壁面または天井に取り付けます。



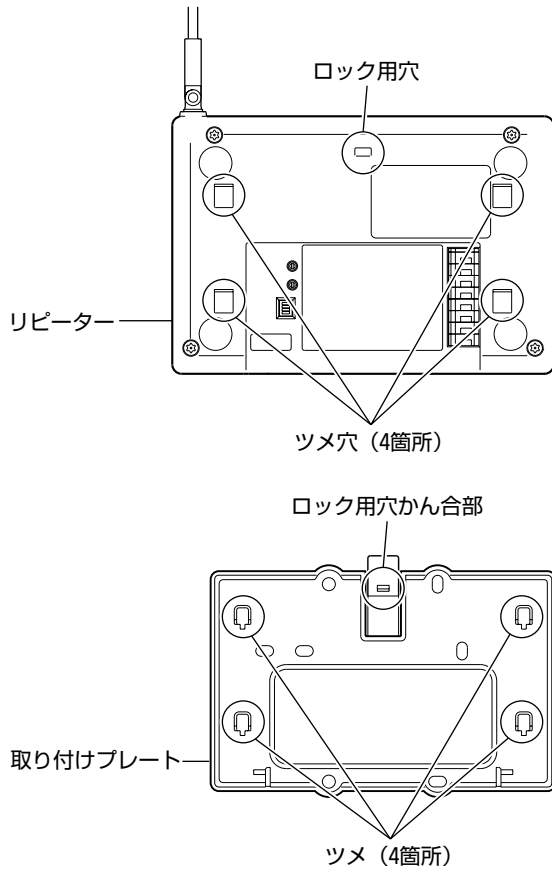
### ご注意

- 取り付けプレートは、図のように天井から20 cm以上、壁から15 cm以上の間隔をあけて取り付けてください。天井および壁からの距離が近すぎると、リピーターを取り付けプレートに取り付けられなくなります。



- 周囲に金属物など電波をさえぎるものがないところに取り付けてください。電波が届きにくくなる原因となります。

**3** リピーターに AC アダプター、外部機器を接続して、リピーターを取り付けプレートに取り付けます。

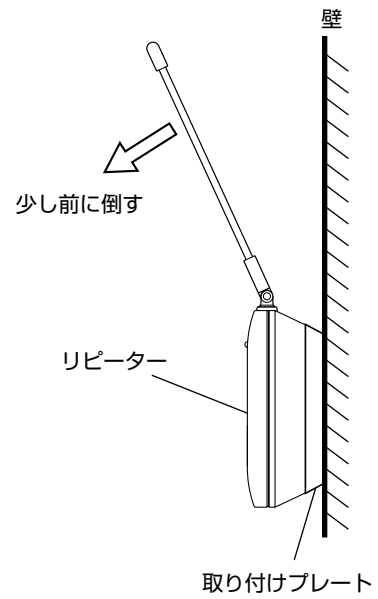


**ご注意**

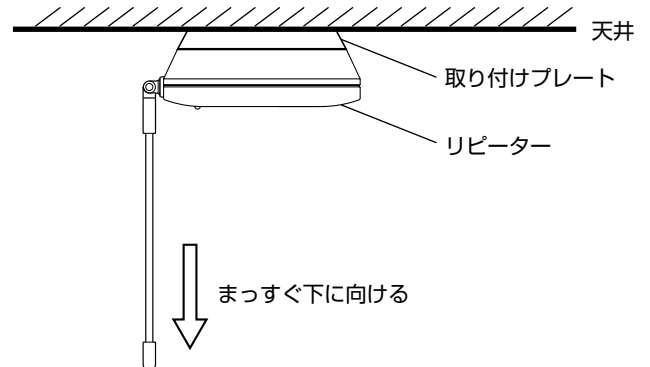
リピーターを取り付けプレートに取り付けるときに、4箇所のツメとツメ穴、ロック用穴とロック用穴のかん合部が確実にかん合していることを確認してください。取り付けが不十分な場合、落下の原因となります。

**4** アンテナを調節します。

■ 壁面に取り付けた場合

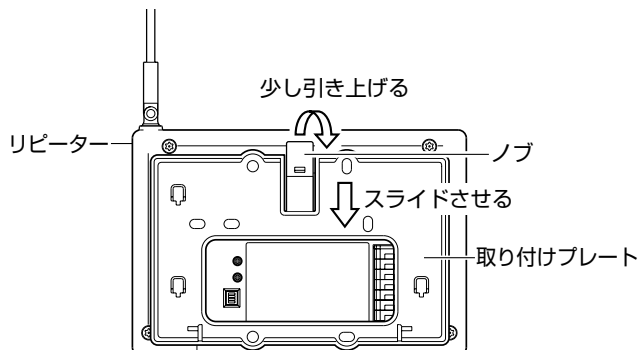


■ 天井に取り付けた場合

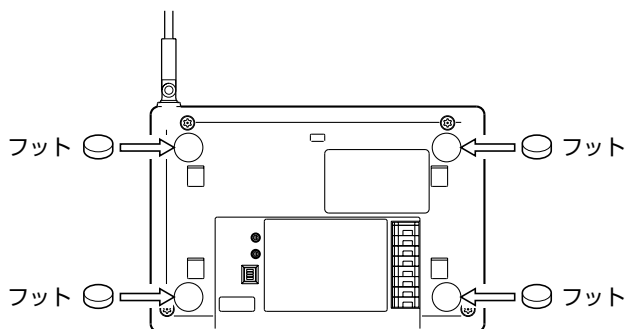


## 卓上への設置

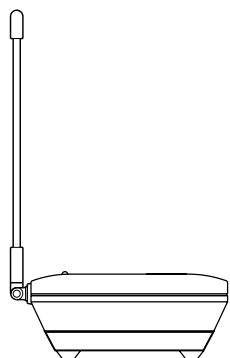
- 1 リピーターから取り付けプレートを取りはずしません。下図のように、取り付けプレートのノブを少し引き上げながら、矢印の方向へスライドさせるとはずれます。



- 2 リピーター底面の四隅のくぼみに合わせて、付属のフットを貼り付けます。



- 3 リピーターにACアダプター、外部機器を接続し、アンテナを垂直に立てて、設置します。



### ご注意

周囲に金属物など電波をさえぎるものがないところに取り付けてください。

電波が届きにくくなる原因となります。



## チャンネルの確認および設定

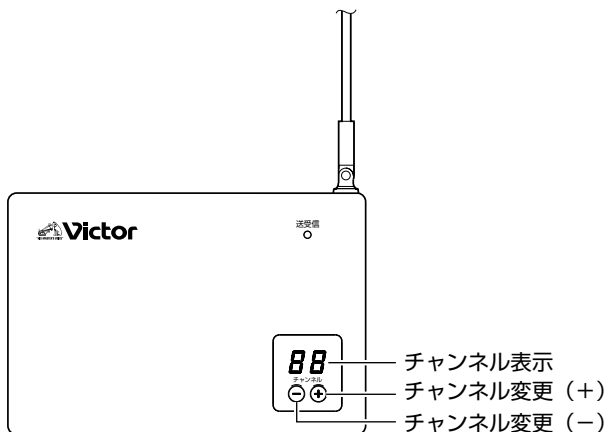
### 確認のしかた

電源ONの状態チャンネル変更ボタン(+)またはチャンネル変更ボタン(-)を押すと、現在設定されているチャンネル番号がチャンネル表示に表示されます。

### 設定のしかた

チャンネル表示にチャンネル番号が表示されているときに、チャンネル変更ボタン(+)を1回押すとチャンネル番号が1つ上がり、チャンネル変更ボタン(-)を1回押すとチャンネル番号が1つ下がります。

- **チャンネル設定範囲：01～27チャンネル**  
表示が27のときチャンネル変更ボタン(+)を1回押すと01になり、01のときにチャンネル変更ボタン(-)を1回押すと27になります。

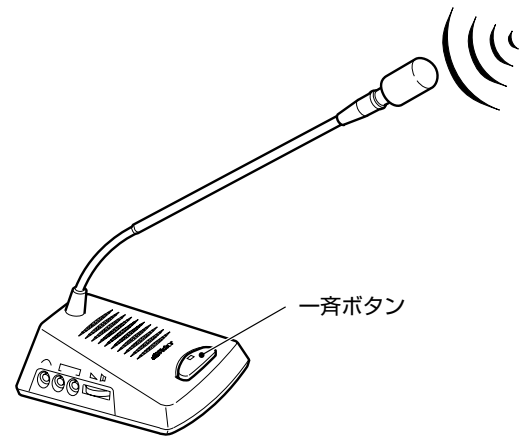


### メモ

- チャンネル表示の表示は、チャンネル変更ボタン(+)またはチャンネル変更ボタン(-)が約4秒間押されないと、自動的に消灯します。このとき、表示されていたチャンネル番号がリピーター内部に保存されます。
- 動作ランプがオレンジ点灯のときは、チャンネルの表示および変更はできません。

## ホールマスター WT-MC60 を使って通話をする

- 1 一斉ボタンを押し続けます。
  - スピーカーから「ブツ」という音が聞こえて、一斉ボタンランプがオレンジ色に点灯します。
  - 一斉ボタンを押すことで、送信起動がかかります。
- 2 一斉ボタンを押したまま、マイクに向かって話します。
  - マイクと口もとを2cm～3cmはなしてお使いください。
- 3 話し終わったら、一斉ボタンをはなします。
  - 一斉ボタンランプは、緑点灯になります。



ホールマスター (WT-MC60)

### メモ

- ホールマスター WT-MC60 のスピーカーからは、ポータブルトランシーバー WT-TR50 からの音声など運用中の音声が聞こえてきます。
- 連続して通話できる時間は、最大3分間です。3分以上通話を続けると、2秒間通話がとぎれ(「ブツ、ブツ」という音が聞こえます)、その後また3分間通話が行えます。
- 「ブー、ピ、ブ、ピ、ブ・・・」という音が聞こえたときは、同じチャンネルが他のシステムで使用されているか妨害波がある可能性があります。同じシステムのポータブルトランシーバーを含めて、チャンネルを変更してください。
- ホールマスター WT-MC60 の操作や設定についての詳細は、『ホールマスターの取扱説明書』をご覧ください。

## 故障と思う前に

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない	AC アダプターが接続されていない	AC アダプターを接続してください
ポータブルトランシーバーからの電波を受信できない	チャンネルが合っていない	ポータブルトランシーバーとチャンネルを合わせてください
	妨害波を受けている（動作ランプが赤点灯）	チャンネルを変更してください（※ 9 ページ）
	ポータブルトランシーバーのリピーター 有 / 無設定が合っていない	ポータブルトランシーバーのリピーター 有 / 無設定を「有」にしてください
外部機器の音声を送信できない	該当機器が正しく接続されていない	該当機器を正しく接続してください
	同じチャンネルを他のシステムで使用している、または妨害波がある（動作ランプが赤点灯）	下記の「同じチャンネルを他のシステムで使用している、または妨害波がある（動作ランプが赤点灯）場合の対処のしかた」をご覧ください
外部入力から音声を入力しているが、送信できない	外部入力した音声に対する送信起動感度設定が低い	外部入力起動感度調節ボリュームで起動感度を調節してください（※ 6 ページ）
外部入力から送信できるが音声が小さい、あるいは大きい	外部入力した音声の音量設定が小さい、あるいは大きい	外部入力音量調節ボリュームで音量を調節してください（※ 6 ページ）
外部入力から送信できるが、頭切れが発生する	外部入力音声遅延設定が「OFF（なし）」になっている	設定スイッチで外部入力音声遅延設定を「ON（あり）」にしてください（※ 4 ページ）
通話が途切れる	ポータブルトランシーバーとの距離が遠い	リピーターに近づいてポータブルトランシーバーをご使用ください
雑音ができる、混信する（他のシステムの音声聞こえる）	同じチャンネルを他のシステムで使用している、または妨害波がある（動作ランプが赤点灯）	下記の「同じチャンネルを他のシステムで使用している、または妨害波がある（動作ランプが赤点灯）場合の対処のしかた」をご覧ください

### メモ

#### ■ 同じチャンネルを他のシステムで使用している、または妨害波がある（動作ランプが赤点灯）場合の対処のしかた

- リピーターおよび同じシステムのすべてのポータブルトランシーバーのチャンネルを変更してください。
- リピーターのチャンネル設定のしかたは、9 ページをご覧ください。
- ポータブルトランシーバーのチャンネル設定のしかたは、『ポータブルトランシーバーの取扱説明書』をご覧ください。

## 保証とアフターサービス

### 保証書の記載内容のご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡しいたしますので、所定事項記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

### 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書記載の内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

### アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

### 修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

- ・ 商品名：リピーター
- ・ 機種名：WT-T50
- ・ 故障の状態をできるだけ詳しく
- ・ ご購入年月日
- ・ ご住所 ご氏名 電話番号

### 商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

## 主な仕様

通信方式	複信方式または半複信方式
電波方式	F3E
送信周波数	440.0250 MHz ~ 440.3625 MHz
受信周波数	421.5750 MHz ~ 421.9125 MHz
空中線電力	10 mW
発振方式	水晶制御 PLL シンセサイザー方式
変調方式	周波数変調方式
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	0 dB $\mu$ V EMF 以下 (12 dB SINAD)
アンテナ	1/4 $\lambda$ ホイップアンテナ
送受信距離	半径約 40 m ~ 60 m ※実際の送受信距離は、設定場所や障害物などにより異なります。
外部入力(ø6.3複式フォンジャック)	-20 dBs $\pm$ 3 dB (ライン入力設定時)、 -40 dBs $\pm$ 3 dB (マイク入力設定時)、 10 k $\Omega$ 、電子平衡
モニター出力(ø6.3 複式フォンジャック)	0 dBs $\pm$ 3 dB、100 $\Omega$ 、電子平衡
マイク入力(外部機器接続端子)	-10 dBs $\pm$ 3 dB、10 k $\Omega$ 、電子平衡
外部入力(外部機器接続端子)	-20 dBs $\pm$ 3 dB(ライン入力設定時)、 -40 dBs $\pm$ 3 dB(マイク入力設定時)、 10 k $\Omega$ 、電子平衡
モニター出力(外部機器接続端子)	-10 dBs $\pm$ 3 dB、100 $\Omega$ 、電子平衡
電源	DC5 V (専用 AC アダプター使用)
消費電流	200 mA 以下
動作温度範囲	0 $^{\circ}$ C ~ 40 $^{\circ}$ C
質量	270 g
外形寸法	163 mm(幅) $\times$ 110 mm(奥行) $\times$ 32.5 mm(高さ) (アンテナ、突起を含まず)
仕上げ	ABS 樹脂、パールグレー色
添付物・付属品	AC アダプター ..... 1 取り付けプレート(本体取り付け済み)..... 1 ネジ(M4 $\times$ 40) ..... 4 木ネジ(M4.1 $\times$ 40) ..... 4 フット..... 4 取扱説明書..... 1 保証書..... 1 安全上のご注意..... 1 ビクターサービス窓口案内..... 1

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (042) 660-7203